

令和6年6月第2回 木島平村議会定例会
《第2日目 令和6年6月5日 午前10時00分 開議》

議長（勝山 正）

おはようございます。

（出席者全員「おはようございます。」）

これから本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりです。

日程第1、一般質問を行います。

一般質問の順序については、議会運営委員会において抽選のとおりです。

6番 丸山邦久 議員。

（「はい、議長。6番。」の声あり）

（6番 丸山邦久 議員 登壇）

なお、丸山議員には、事前に資料の持込みの申請があり、これを許可しましたのでご了承願います。

1. 産業振興について

6番 丸山邦久 議員

それでは発言を許されましたので、私の方から3点にわたって質問をさせていただきます。

まず1番目、産業振興についての質問をします。

令和6年3月議会の一般質問において、日墓村長は「子育て支援や産業振興などの成果を上げている自治体と積極的に意見交換をしている」と述べられました。

その自治体名は言えないということでしたけども、私としてみれば、自治体名を言ってもらった方がお互いの議論ができて、より効果的になるのではないのかなと思いますし、村長の発言の重みというか信憑性が増すんじゃないかと思っております。ただ、言えないということなので、今回その問題については議論しませんけども。

ふう太ネットさん、資料を掲示してもらえますか。

（丸山議員 持込み資料を掲げる）

木島平村の法人住民税の推移を見ると、平均割が平成30年度から令和4年度まで3.6%のマイナスとなっています。つまり法人数は、30件に1件以上減っているという計算になります。

また、法人税割を見ても、企業業績が低迷しているように見えます。これ逆算してみたんですが、大体、木島平全体の法人で、4,000万～6,000万ぐらいの利益が出ているというふうに考えられますが、法人数について私は把握しておりませんが、法人会の会員も40から38に今年は減っている。決して企業も増えてないし、そんなに木島平の法人が儲かっているというわけにはいかないと思います。そこで、質問させていただきます。

1番目です。村長が答弁した積極的に意見交換をして、どのような分野にどのような成果が出たのか、答弁を求めます。

2番目、今後どのような振興策を講じるのか、プランを示していただきたい。

以上、2点お願いします。

議長（勝山 正）

日墓村長。

（村長「日墓正博」登壇）

村長（日基正博）

おはようございます。

それでは、丸山議員のご質問にお答えいたします。

最初に「法人税の均等割の減少について」ということでありますが、これはやはり人口減少や高齢化が主な原因と考えております。

これまで、村の施設の民間化などに際しては、新たな法人を村に設立する、そのようなことを条件にしながら村内企業の増加に努めてまいりました。

また、バブル景気の頃を中心に、観光施設など自治体が第3セクター方式などで経営することが多くなりましたが、財政負担が大きくなり民間譲渡や民間化した市町村の事例があり、それらを参考にできております。これまで村が負担していました施設の改善や維持管理費については、村の財政にも限界があります。民間に投資してもらうことにより、より大きな経済効果に期待するとともに、産業振興や少子化、人口減少、高齢化対策など村の課題に振り向けることができる財源が、一定程度確保できたのではないかと考えております。

そして、以前にも申し上げましたが、村に大企業や大きな工場などを誘致するというのは難しいと考えております。これまで同様、村で新たな事業を起こす際にはできるだけ、村内に事務所を構えていただき、移住定住促進事業や創業支援事業などの中で新たな企業の創出、雇用の拡大を図っていきたいと考えております。

議長（勝山 正）

丸山議員。

再質問

6番 丸山邦久 議員

今、私は「積極的に意見交換をしてどのような分野にどのような成果が出たのか」をお聞きしたわけでありませう。

今、村長の答弁を自分の頭なりに考えてみてですね、成果が出たのは観光分野で、人口減少、高齢化対策などに振り向けることができる資金余裕ができたということが成果というふうに考えていいですか。

議長（勝山 正）

日基村長。

（村長「日基正博」登壇）

村長（日基正博）

村の中で様々な課題を語る中で、やはり財源の確保というのは大きな課題であります。その財源について一定程度を確保できた、これについては将来的にも大きな成果ではないかと考えております。

議長（勝山 正）

丸山議員。

再質問

6番 丸山邦久 議員

それでは、今、村長が答弁された「新たな法人を村に設立することを条件として村内企業の増加に努めてきた」とおっしゃいましたけれども、ちょっとそれ違っているんじゃないかなと私は思っているんですよ。というのは、SBCさんが今回からスキー場の経営に入られた。でも、名前を変えただけ

で、元々木島平観光（株）はあったわけです。決して企業が新たに作られたわけでもない。で、そのSBCに馬曲温泉を分離しろと言われて、今回、馬曲温泉に入ってこられた企業さんがやられるわけですが、馬曲温泉（株）でしたか、その会社だってもう既にできていましたよね。

だから今言ったことはちょっと当たらないんじゃないかというふうに思いますが、村長の見解を伺いたい。

議長（勝山 正）

日碁村長。

（村長「日碁正博」登壇）

村長（日碁正博）

村の中の施設を民間が管理する場合に、本社が例えば県内とかにあって、そしてその会社が直接管理する方法もあるというふうに思います。そうではなくて、やはりしっかりと村の中に法人、事務所を置いて経営してもらい、それについては、やはり村の企業として村の中でも経済活動をしてもらうということになりますので、そのことを私は申し上げたわけであります。

議長（勝山 正）

丸山議員。

再質問

6番 丸山邦久 議員

物事は、はっきり説明していただかないといけないと思うんですよ。その場を乗り切るためにおっしゃるのであれば、そういう答弁を私はやめていただきたいなと思います。

現実問題、それは増えておりません。増えたみたいな言い方をしね、村民に話すことはちょっと不誠実ではないかなと思います。

確かにその分は、今まで観光（株）に資金を提供していた分は減ったと思います。けど、その使い方についてはね、果たして、人口減少、高齢化対策、産業振興、少子化にだけ使っているわけじゃないですよ。ここはそれを議論する場ではないかもしれませんが、どうも違う方向に私はお金を使っていた気がします。そういうふうに産業振興や少子化、人口減少、高齢化対策に使うっていうのであれば、本当にそれを使っていたかと思いたい。

村長の見解を伺いたい。

議長（勝山 正）

日碁村長。

（村長「日碁正博」登壇）

村長（日碁正博）

村の中で企業を減らさないというのもやっぱり一つの対策だというふうに思いますし、それから先ほど申し上げました財源ですが、これについては村の一般財源になるわけでありまして。一般財源というのは、村の財政計画の中で、議会の皆さんにご理解いただきながら、どこに振り向けるかというのは決まっていない財源、ですから一般財源なわけでありまして。

そういう意味で言えば、これまでそれぞれの施設等の維持管理にかかってきた財源については、村の一般財源をどこに振り向けるかというのはやはり村の施策でもありますし、また議員の皆さんの議論の中でもいろいろご提案いただき、そういう目的でも扱っていくべきだろうと思っております。

そういうことで、どこに振り向けたかというのはなかなか出てこないというのは、確かだろうと思

います。

議長（勝山 正）

丸山議員。

再質問

6番 丸山邦久 議員

どこに振り向けたかということは、また9月議会にでも質問させていただきたいなと思っております。

それでは2番目にまいります。先ほど私の「今後どのような振興策を講じるかプランを示してほしい」と質問したわけでありますが、「移住定住促進事業や創業支援事業などの中で、新たな企業の創出、雇用の拡大を図ってまいります」と答えられました。具体的にはどんなことをされていくのか教えていただきたいと思っております。

議長（勝山 正）

日碁村長。

（村長「日碁正博」登壇）

村長（日碁正博）

以前から、やはり村の中で空き家というのは大きな課題ではありますが、言ってみれば、それも見方を変えれば資源になるわけでありまして。そういう空き家等を活用した事業が村に呼び込むというのは、大きな創業の一つだろうというふうに思います。

そしてまた、村では創業支援金というのをやっております。それに基づいて、いくつかの事業が起きておりますので、それをこれからも積極的に進めてまいりたいと、そういう意味であります。

議長（勝山 正）

丸山議員。

再質問

6番 丸山邦久 議員

空き家対策は、空き家対策なわけで。もっと積極的な産業振興についての策ってのはないんですか。空き家対策は空き家対策ですよ。確かにそれがあれば入ってくる人はいるかもしれないけども、産業振興って空き家があるから入ってくるわけじゃないですよ。もっと具体的なプランがないんでしょうか。

議長（勝山 正）

日碁村長。

（村長「日碁正博」登壇）

村長（日碁正博）

空き家については一つの事例として申し上げたわけでありまして、先ほど言った創業支援など、村としても積極的に支援していきたいというふうにご理解いただきたいと思っております。

議長（勝山 正）

丸山議員。

再質問

6番 丸山邦久 議員

創業支援は創業支援として、私は評価しておりますよ。それはやった方がいいと思っている。

だけど創業支援を、要するにお金だけの問題っていうふうに片付けている。要するに、創業支援ってこれだけ出すから何とかしなさいみたいなのが実に多いですね。だけど、創業するには、そのお金だけでは創業できない。やはり、販売のノウハウとか販売先とか、最低、企業というのは販売ができれば成り立ちますから、せめて販売の部分に関しては行政さんがやっていただけるようなことって考えていただけませんか。

議長（勝山 正）

日墓村長。

（村長「日墓正博」登壇）

村長（日墓正博）

創業についてはあくまでも民間でありますので、創業されている人がどういう事業を起こしたいのか、それによっても変わってくるわけでありまして、行政指導というのはなかなか難しいだろうなというふうに思います。

一方では、行政がどこまで関わるかっていうのは大きな課題だろうというふうに思います。やはり企業を起こしたい、そういう人を支援するというのがやっぱり一番基本ではないかというふうに思います。

議長（勝山 正）

丸山議員。

再質問

6番 丸山邦久 議員

さっき申し上げたように、起業は創業支援のお金があるからできるわけではないです。やはり企業として成り立つには、売るのがなきゃいけない、売り先がなければいけない。さっき申し上げたように、何もなくても多分販売力だけあれば企業というのは成り立ちますよ。そういうノウハウとか、要するに銀行に資金計画を出すのはどういうことが必要かとかというもっと具体的な指導の仕方があると思うんですよ。そういうことがなくて、ただこれについてはこういう補助金出します、これについてはこういう補助金出しますという話だけでは、ちょっと積極的にやっているっていうのには当たらないんじゃないかと考えますが、いかがですか。

議長（勝山 正）

日墓村長。

（村長「日墓正博」登壇）

村長（日墓正博）

民間活動について、どこまで行政が関わるかというのは限界がありますので、その辺はご理解いただきたいというふうに思います。

議長（勝山 正）

丸山議員。

再質問

6番 丸山邦久 議員

なかなか期待した答弁が返ってこないようでありますが。

民間活動に行政が踏み込むかっていうことを言っているわけじゃないです。民間人が、村民が、企業を起こそうと思ったときどういう支援があるか、どういうことを望まれているかっていうことをもっと調査して、それで、そういう制度を充実させてくださいってことを言っているんですよ。

それでもう一つ言いたいのは、さっき販売ってことを言いました。農家の皆さんが安心して農作物を作っていくことができる状況を作るのは、私は行政の務めではないかなと思います。

先日、テレビでプロジェクトXがありました。あそこで4億だか、5億だかかけて冷凍設備を作って、販路を切り開いていった。見ていて本当に僕は涙出ましたね。すごいなと思いました。町長は「私が責任を取るからやれ」と言った。こういう立派な首長もいるんだなというふうに僕は感動しました。そんなことを日墓村長に期待しているわけじゃありませんが、商社的な意味で、もっと例えば木島平の農産物を、今もう国内需要は頭打ちですから、海外に視野を広げるとか、そういうことは一般の農家さんには無理なんです。だから、良いものを作ればそのものが売れていくっていう、そういう機構を作っていくことが僕は行政さんに求められるものじゃないかなと思います。

ネギを作って売上げを上げるとか、そういうことを僕は期待しているわけじゃなくて、作ったものをもっと広く、安心して作れる、安心して作ってそれが売れて利益が出る。そういうところに行政さんは踏み込んでいてもらいたいなと思っているわけでありまして。

お考えをお聞かせください。

議長（勝山 正）

日墓村長。

（村長「日墓正博」登壇）

村長（日墓正博）

今のご質問については、先ほどのご質問とちょっと若干違うんじゃないかというふうに思います。

先ほどは、何をどう作ってどこに売ればいいのかというような、ここまでは行政でも関われという話だったので、私は、それは限界があるというふうに申し上げました。

今の話はまたちょっと違って、言ってみれば、村の農産物に限らず、物をどう高く売るかということでありましたので、これについては、村としてもやはり、特に農産物についてはブランド化ということで、農産物の価格維持向上についてずっと図ってきているというところでもあります。特に米については、「村長の太鼓判」については村のトップブランドとして、できるだけ高く売ることによって、村内では自分で売り先を確保している農家の皆さん大変多くおりますので、それらの皆さんの価格の維持向上に繋がるように努めているということでもあります。

そしてまた、米はやはり農業を印象する作物ありますので、米をPRすることによって村の農産物の付加価値を上げていくというのが村の考え方でありまして、その辺はご理解いただきたいと思っております。

議長（勝山 正）

丸山議員。

再質問

6番 丸山邦久 議員

今、「村長の太鼓判」っていう答弁にありましたけども、村長の太鼓判は、日墓村長が村長になる

前から存在したもんだと思います。日墓村長が村長になられてから、何かブランドを立ち上げたとか何かされたことがありますか。それを今日お聞きしたいと思います。

議長（勝山 正）

日墓村長。

（村長「日墓正博」登壇）

村長（日墓正博）

私とすれば、良いものは伸ばしていくという考え方であります。「村長の太鼓判」については、米にとっては良い戦略ではないかというふうに思っております。その辺を私はしっかりと維持しながら、更にその効果を上げていきたいと考えておりますので、よろしく申し上げます。

なかなかそのほかのブランドについては、現実難しい問題であります。最近、白ネギ等が村内かなり増えてきているということで、それらについては支援をしていきたいと考えております。

議長（勝山 正）

丸山議員。

6番 丸山邦久 議員

私は、「日墓村長になってから、何か立ち上げたブランドみたいなものがありますか」と聞いたんで、無いなら無いって答えていただければ結構なんです。ぜひそういう完結な答弁をお願いしたい。

2. ファームス木島平について

6番 丸山邦久 議員

それでは、2番目のファームス木島平についてにまいります。

5月23日の議会全員協議会において、道の駅再整備事業に係る整備方針（案）が示されました。

何度も読み返してみましたが、うまくいく気が全くしません。ファームスの開業から9年が経過し、やっと補助金の縛りがなくなろうとしているのに、なぜまた再整備をするのか。

村長の考えを伺いたいと思います。

1番目、再整備の目的は何ですか。

2番目、村や村民にどのようなメリットがあると考えていますか。

3番目、ファームスの経営が良い状態になる根拠は何ですか。

4番目、立て直しには大変なエネルギー（熱意）が必要と思いますが、誰がそれを担うのか。

5番目、ターゲットとする顧客はどのような人たちですか。

以上、お願いします。

議長（勝山 正）

日墓村長。

（村長「日墓正博」登壇）

村長（日墓正博）

それでは、1点目の「再整備の目的」であります。農産物や特産品の販売、それから観光情報を提供する場合は、農業や観光など村の産業振興のために、村の将来にわたって必要なものと考えております。

また、道の駅は多くの皆さんがその市町村を知るために、まず立ち寄る場所ではないかと思っております。そのうえで、現在の道の駅の課題である、屋根の老朽化や空調設備の不足など建物の課題と

集客力が弱いという運営面の課題を克服するための再整備が必要であります。また、その整備内容は、現施設を活かした内容とすることで、村の財政負担を極力抑えることができると考えております。

「ファームスの経営が良い状態になる根拠は何か」ということですが、整備方針（案）の段階で具体的な数値等を示すことはできませんが、現在利活用できていない機能をなくし、賑わいを醸成するための新たな機能を導入することにより、観光客や村民を含めた地域住民など、より多くの皆さんにご利用していただくことが経営上重要なことと考えています。

ほかの質問については、産業企画室長に答弁をさせます

議長（勝山 正）

本山産業企画室長。

（産業企画室長「本山 等」登壇）

産業企画室長（本山 等）

それでは、村長の答弁に補足して、2点目の「村や村民のメリット」、5点目の「ターゲット」についてお答えします。

主なターゲットは、インバウンドも含め地域の観光を楽しみながら仕事や交流を求める観光客です。このほか、子育て・孫育てをされている地域住民の皆様にも交流や憩いの場として利用していただきたいと考えております。

このターゲット層を獲得するため、必要な機能を導入し、賑わいづくりを醸成することで、交流人口と販売額を増加させて、採算性のある運営としたいと考えております。また、農産物を始めとした生産者の所得向上、生産意欲の向上に繋がるとともに、観光業や商工業においては、道の駅が村の玄関口、ゲートウェイとして村内各所へ旅行者を誘導することで、人の流れと経済に好循環を生み出すものと考えております。

つぎに、4点目の「立て直しは誰が担うのか」について、再整備後は、指定管理者による管理運営を予定しており、直接的にはこの指定管理者が担うこととなります。ただし、指定管理者の選定から指定期間中の運営状況の点検、評価を村が行いますので、指定管理者と村の二人三脚で担っていくものと考えております。

議長（勝山 正）

丸山議員。

6番 丸山邦久 議員

それでは、②の答弁についてお伺いしたいと思います。

議長（勝山 正）

①はいいですね。

6番 丸山邦久 議員

はい。

議長（勝山 正）

分かりました。どうぞ。

再質問

6番 丸山邦久 議員

道の駅が村の玄関口、ゲートウェイとして、村内各所への旅行者を誘導すると、人の流れと経済の好循環を生み出す。そうなる確率は高いと考えておられますでしょうか。

議長（勝山 正）

本山産業企画室長。

（産業企画室長「本山 等」登壇）

産業企画室長（本山 等）

「確率が高くなるか、見込みがあるか」ということですが、見込みがあると考えております。

議長（勝山 正）

丸山議員。

再質問

6番 丸山邦久 議員

見込みがあるのは多分あるんでしょう。それが高いかどうかを聞いているわけで。

高いんですね。今の答弁は、そういうふうに理解していいですね。

私は全く違う見解を持っておりまして、何度も何度も本当にさっきの計画書ですか、整備方針（案）を読み直しました。

実際に、あそこに入ってくる観光客がどのぐらいいるのかっていうことになれば、行政の皆さんはファームスの入口の前の通行量を調べましたか。まずそれをお聞きします。

議長（勝山 正）

本山産業企画室長。

（産業企画室長「本山 等」登壇）

産業企画室長（本山 等）

「交通量を調べたか」ということですが、県が調査した数値は把握しております。

ただ、今手元に資料がございませんので、具体的な数字については申し上げることはできません。

議長（勝山 正）

丸山議員。

再質問

6番 丸山邦久 議員

飯山市の道の駅、千曲川ですね。あその前は、私が調べたところによると、1日の通行量が上下線合わせて2万台あります。

それに比べてファームスの前というのは、はるかに通行量が少ないわけでして、本当に期待したほどのものがあるのかって言ったら、私はないと思う。立地として、私はあれを作る当初から立地が悪いから駄目だっていうふうに私は思っていましたし、周りにもそういうふうに言ってまいりました。わざわざまた立地が良くなっているわけでもないのに、またこれを再整備するという考え方は、相当自信がなきゃできないなと僕は思うんですが、村長、自信あるんですね。

議長（勝山 正）

日墓村長。

(村長「日墓正博」登壇)

村長（日墓正博）

立地については以前も申し上げましたが、最適かという、建設当初からいろいろ議論があった場所であることは、皆さんもご存知だろうというふうに思います。

ただ、現にそこに道の駅としてあると、そしてまた多額の費用をかけた施設であるということ、そしてまた先ほどから申し上げておりますように、やはり道の駅は村にとっても、産業振興や情報発信の面で必要な施設だと考えている、そういう面を考えますと、今ある施設を有効に使うというのは、村の財政等も考えた場合、経費とも考えた場合、最善の方法だろうというふうに思っております。

そのうえで、先ほど申し上げましたように、道の駅の効果をしっかりと発揮しながら、道の駅だけで村の産業振興を図るというわけではありません。道の駅を通して村の産業振興に貢献できる、そういう施設を目指していきたいというふうに考えております。

確かに、交通量がうんぬんという話がありますが、その中で、村とすれば経費を最小限に押さえながら、産業振興、経済の発展に繋がる施設を作っていきたいというふうに考えております。そういう意味では、これから現時点では方針案という段階であります。これから具体的な計画を作成するにあたって、中身を更に細かく検討していきたいと思いますが、その際に、またいろんなご意見いただければと思います。

その結果が駄目ということであれば、計画についてはまた振出しに戻ることもあるのかなというふうに思いますが、現時点では、整備方針案に基づいてしっかりと計画を作っていく。それをまた議員の皆さんにも協議ありますが、村民の皆さんにもご理解いただきながら進めていきたいと、そのためにはやはりしっかりと根拠を示していく必要があるだろうと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

議長（勝山 正）

丸山議員。

再質問

6番 丸山邦久 議員

計画の中に、みゆきパークのハム作り、それからクラフトビール、内山の水と木島平米を利用したクラフトビールというのがありました。実際にそれを事業化していくってそんなに簡単な問題じゃないと思うんですよ。

それで、「クラフトビールやっている」って話だったんで、「どこでやってるの」って聞いたらそれも教えてもらえない。実際に我々はその行行ってどういうことをやっているのかって見なきゃ判断つかないですよ。やはり、そういう行政の立場っていうか態度というか、そういったものでは、良いものか悪いものか、はっきり言って判断がつかない。

クラフトビール、地ビール、そういったもので成功した事例っていうのはあまり無い。短期的には話題になって、パッと売れるかもしれない。けども長い期間、例えば20年、30年ちゃんと収益を上げて続いていたという例をあまり聞いたことがないんですよ。だから、それでもまだ確率が高いというふうに考えられるのかどうなのか、答弁をお願いしたい。

議長（勝山 正）

日墓村長。

(村長「日墓正博」登壇)

村長（日墓正博）

クラブトビールに逆にこだわっておられるのかなと思いますが、これは検討事項として挙げたものであります。最終的に入れる入れないの判断は全くしておりません。

その辺は、そういうふうにご理解いただきたいと思います。

議長（勝山 正）

丸山議員。

再質問

6番 丸山邦久 議員

整備方針(案)ってそんなにいい加減なものだったのかなというふうに、今の答弁を聞いて思ってしまう。それで、採決をとって賛成できるのかって、今の私にはできないですね。やはりもう少し確率の高い整備方針を出していただかないといけないのではないのかなと。

それと、やたら急いでこの計画を着手しようとしているように私見えるんですよ。ファームスがうまくいっていないっていうのは、いっていないなりに理由があるんです。経営ってそういうもんなんですよ。

やはりそこをしっかりと検証して、それに対してこういうふうにやれば改善できるというものを立てなきゃいけないんだけど、こんなに急がなくて、一度立ち止まってしっかりと計画する時間があったっていいのではないかと思います。村長、見解をお願いします。

議長（勝山 正）

日碁村長。

(村長「日碁正博」登壇)

村長（日碁正博）

私とすれば、急いでいるという感覚はありません。リニューアルのめどとすれば、令和10年を目指して今のところ計画しているところでもあります。その間、いろんなご意見をお聞きする場所もあるだろうと思います。

一番今のファームスの課題は、利用できない施設がかなりあるということだと思います。

これまでいろんな皆さんにご協力いただいて、前庭等、本当に天気の良い土日には、家族連れ等大勢の皆さんが来て親しんで使ってもらっていると。そしてまた、これからも周りの施設を活用しながらいろんな形で、より多くの皆さんに集ってもらおう場所にしていきたいということで、これからも進めていきたいというふうに考えておるわけですが、特に加工施設の部分、これについては屋根の問題もありますし、それからまたその利用方法の問題もあります。その辺の課題があるということで、全くすべてがうまくいっていないわけではないということをご理解いただきたいと思います。

そんな意味で、方針でありますから、その方針を具体的にと言われてもなかなか、そのための予算を今回計上したわけではありますが、机上の計算、机上の計画だけを進めて、それを理解できるかできないかと言われてもなかなか難しい。やはり、しっかりとした予算付けの中で計画を作っていく。そうでなければなかなか議論が進まないんじゃないかというふうに思いますので、よろしく願いいたします。

議長（勝山 正）

丸山議員。

再質問

6番 丸山邦久 議員

それでは、4番目の質問に入ります。

「立て直しには大変なエネルギーが必要だと思うが、誰がそれを担うのか」というふうに私は質問しましたが、「指定管理者と村」。どこが指定管理者になるかわからないのに、そんなに熱意があるところがあるかどうかは定かじゃないわけですが、せめて村が担当するっていうんだったら、村というのは最終的には誰ですか。熱意を持つのは誰ですか。そこについてお伺いしたい。

議長（勝山 正）

日碁村長。

（村長「日碁正博」登壇）

村長（日碁正博）

ちょっと質問がよく分かりませんでした。村というのはやっぱり組織でありますので、村とすれば行政体としての場だというふうに認識いただきたいと思います。

議長（勝山 正）

丸山議員。

再質問

6番 丸山邦久 議員

前にも一般質問でお話しましたが、川場村の道の駅、あれは川場村の村長が大変な熱を持って事業を立て直された。この間テレビで、プロジェクトXでやっていた海士町は、町長が「責任は俺が取る。やってみろ。」というふうに言った。やはりトップリーダーのすべきことってそういうことじゃないかなと僕は思います。

「組織全体で」それは村長の思いが組織を動かすんであって、村長が今のような答弁をしているんだったら、この計画はもうお止めになった方がよろしいんじゃないのかなと思います。村長、やるという決意はあるんですか。

議長（勝山 正）

日碁村長。

（村長「日碁正博」登壇）

村長（日碁正博）

はっきり申し上げて、やる気がないならここで議論はしておりません。そのつもりでやっているということですので、よろしく願いいたします。

議長（勝山 正）

丸山議員。

再質問

6番 丸山邦久 議員

そういう答弁じゃなくて、「私が責任を持ってやります」って言えないんですか。

議長（勝山 正）

日碁村長。

（村長「日碁正博」登壇）

村長（日基正博）

何を求めているのかよく分からないんですが、やる以上はしっかりと取り組んでまいりたいと、そしてまた結果を出したいというふうに考えております。その気持ちは十分持っているつもりでありますので、よろしく願いいたします。

議長（勝山 正）

丸山議員。

3. 一般質問に対する村長の取組姿勢

6番 丸山邦久 議員

若干消化不良ではありますが、3番目の質問にいきたいと思えます。

一般質問に対する村長の取組姿勢であります。

今までに2つ質問してきたわけですが、年4回行政事務一般質問の機会を与えられていますが、議論がかみ合っているとは思えません。村長は、質問に適当に答えてやり過ぎせばいいと考えているのではないかというふうに勘ぐってしまいたくなるような場面もございます。

2日間に費やされる人件費、これは村長、副村長、教育長、各課の課長、議員、事務局員を合計すれば、大変な金額になるわけでありまして。

この一般質問を質問だけで終わらせずに、答弁だけで終わらせずに、やはり村の行政の向上に結び付けなければならぬと私は考えますが、村長の考えを伺います。

議長（勝山 正）

日基村長。

（村長「日基正博」登壇）

村長（日基正博）

「一般質問について」のご質問であります。

こういうご質問がこれはいいかどうか分かりませんが、一般質問というのは、やはり行政や事務についての質問をする場でありまして。その中で議論をして政策決定をするという場ではありません。ただし、質問の中に提案を交えたご質問という形で質問をされて、そしてまたその目的とか効果、財源などを検討したうえで、必要なものについて事務事業に実際に取り組んできたものもあります。

通告にないご質問は答弁できませんし、議員の皆さんの再質問、再々質問などであらかじめ想定していないご質問について、そういうことは即座にその場で明確な答弁ができない場合もあることはご理解いただきたいと思います。

議長（勝山 正）

丸山議員。

再質問

6番 丸山邦久 議員

一般質問をやっぱりやるならやるなりに、議員の言っていることも真摯に聞いていただきたいし、取り組んだ方がいいんじゃないですかと言って取り組まない事例がいくつかございます。私の例だけでもいくつかあります。

前回の一般質問で、私は「都城フィロソフィー」の質問をしました。

あれすごく簡単ですよ。 「都城」を「木島平村」に変えて、「市民」を「村民」に変えればすぐに

でも適用できます。あれすごくいいなと思って、村長もそれなりにいいなと思っていただけたと思うんですが、なぜか3か月経ってもそれに取り組んでいることもない。もったいないと思うんですね。人の良いところを真似すりゃいいだけの話で、何もこれについて新しいことをやれって言うわけではない。そういうことをなぜかやらないっていうのは、どういうことですか。

答弁をお願いします。

議長（勝山 正）

日碁村長。

（村長「日碁正博」登壇）

村長（日碁正博）

やれば良いことはたくさんあるだろうと思います。それを具体的に、実際にやるかどうかについては、議論はまた別だろうというふうに思います。

先ほどありました提案について、確かに内容とすれば良いことだというふうに思いますが、そのまま実行するかどうかは、まだまだこれからの問題かなというふうに思っておりますので、よろしくお願い致します。

議長（勝山 正）

丸山議員。

再質問

6番 丸山邦久 議員

これは村民からもいろいろ言われるんですが、とにかくそういうことに対してスピード感がない。多分これからプラン・ドゥー・チェック・アクションなんていう話が出るとは思いますけども、プラン・ドゥーがあるからチェックがあってやっていけるんですよ。村長の頭の中にプランはあるかもしれないけど、ドゥーがない。だからチェックができない。要するに、こういうことをやりたいなということはあるかもしれない。でも、それに対して試しにやってみるってことはないから、それに対してチェックができなくて、実際に動きに踏み込めない。そんなふうに私には見えるんです。

やはり、失敗したっていいじゃないですか。都城フィロソフィーなんか失敗する確率はあんまりないですよ。やはりやってみるという姿勢が非常に大事なんじゃないかと思うんです。そんな全部が全部うまくいくなんてことはあり得ないですよ。大谷選手だって4割までいってないですよ。政策だって、企業の新商品の開発だって、3割うまくいけば立派なもんだと、私は思います。

チャレンジしないってことはね、一番いけないことだと私は思いますが、村長の見解を伺う。

議長（勝山 正）

日碁村長。

（村長「日碁正博」登壇）

村長（日碁正博）

今回頂いた一般質問の趣旨から若干ずれているような感じもしますが、先ほど言われた「失敗したっていいじゃないか」という話は大変心強く思いました。これまで議会の中で、失敗についてはかなり厳しく批判をされてきておりますので、今のご意見、本当に貴重な意見というふうに受け止めさせていただきました。

それと併せて、ご質問というよりもこういうふうなという提案というふうにあります。今、丸山議員が言われたことをしっかりと考えながら、また私自身も行動するようになりたいと考えており

ますので、よろしく願いいたします。

議長（勝山 正）

以上で、丸山議員の質問は終わります。

（終了 午前10時47分）

議長（勝山 正）

ここで暫時休憩とします。

再開は、午前11時00分とします。

（休憩 午前10時48分）